

2014年度 修学院フォーラム「社会」
第2回

〈主催〉(公財)日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター

〈協賛〉京都キリスト教協議会

今私達の社会は、いのち、正義、平和、自由を脅かす危険のある重大問題に直面しています。これら問題とどう向かい合うべきか、基本に立ち返って考えてみたいと思います。

日本は暗い時代に向かっているのだろうか？ 集団的自衛権、特定機密保護法について考える



講師 佐藤 優 (文筆家)

安倍政権になって、特定秘密保護法（スパイ防止法に相当）、憲法解釈の変更による集団的自衛権行使容認など、日本は戦争を可能にする国家態勢への転換を急速に遂げている。しかし、その現実が、政治エリート（国会議員、官僚）にはよく見えていない。

「われわれは、普通になろうとしている」という政治エリートの集合的意識（もしくは無意識）がこの転換を押し進めている。このような状況は日本社会に反知性主義が蔓延しているから起きる。安倍政権下での出来事を福音の光に照らして読み解くことを試みる。

日時 2014年 11月 8日（土）13:30～17:30

場所 関西セミナーハウス ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 2,000円、学生500円（コーヒー込み）

*11月5日までに FAX(裏面)、電話、電子メール等でお申し込み下さい。

佐藤 優 SATO Masaru

1960年東京都生まれ。1979年同志社大学神学部入学、1985年同大学院神学研究科修了、1985年外務省入省、英国陸軍語学学校、モスクワ国立大学で研修した後、在ソ連（その後ロシア）日本大使館に勤務。2002年、鈴木宗男事件に連座して東京地検特捜部により、逮捕、起訴。2009年に最高裁で執行猶予付有罪判決確定。2013年執行猶予期間満了。

著書は、『国家の罫』（新潮文庫）、『国家論』（NHKブックス）、『宗教改革の物語』（角川書店）、訳書はフロマートカ『人間への途上にある福音』（新教出版社）など多数。

- ◎スケジュール◎
- | | |
|-------------|------------------|
| 13:30～15:00 | 挨拶・講師紹介
講演・発題 |
| 15:00～15:30 | コーヒープレーク |
| 15:30～17:20 | 質疑とはなしあい |
| 17:20～17:30 | まとめとアンケート記入 |



2014年度 修学院フォーラム

社 会 第1回 11月1日 (土)

「科学者の原罪と社会的責任ー 福島原発事故の本質」

講師：政池 明 (京都大学名誉教授、物理学者)

第3回 2015年1月11日 (日)～12日 (月・祝)

「原発をどう位置付けるか」

「環境経済学の観点から」 (仮)

講師：植田 和弘 (京都大学大学院経済学研究科長)

「神学の観点から」 (仮) 講師：西原 廉太 (立教大学副総長)

いのち 第2回 2015年1月24日 (土)

「福祉とスピリチュアリティー社会福祉の根源にあるもの」 (仮)

講師：木原 活信 (同志社大学社会学部教授)

第3回 2015年2月28日 (土)

「グリーンケアを考える」

講師：高木 慶子 (上智大学特任教授、上智大学グリーンケア研究所特任所長)

福 祉 第3回 2015年3月7日 (土)

「「葬儀と墓」は誰のために、何のために～キリスト教と仏教の立場から考える」

講師：池口 龍法 (知恩院僧侶)・塚本 潤一 (頌栄短大准教授)

【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー

関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

電子メール office@academy-kansai.org

所長代行 榎本 栄次

担当 都木かおり



* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

2014年度 修学院フォーラム「社会」第2回 参加申込書

(フリガナ)	
名 前	所 属
住 所 〒	
電話 ()	FAX ()
電子メール :	@
通信欄 :	